



**行政学芸員職
(大学卒)**

教育部生涯学習課
市史文化財担当
主事 伊東 はるか
平成30年度入庁

■担当業務について

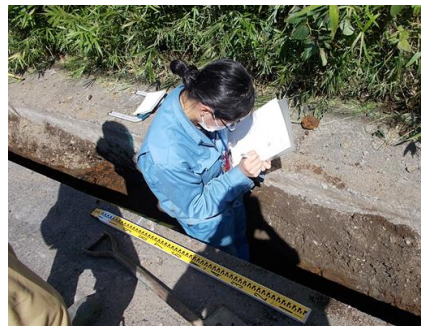
文化財めぐりや講演会などの周知・啓発イベントを企画し、各種団体と協働で実施する仕事をしています。また、収蔵資料の整理や伝統芸能の周知を通じた保存事業、開発に伴う埋蔵文化財の調査や調査に伴う調整など文化財全般に関する業務をおこなっています。毎年夏には、市役所7階で企画展を実施しています。

■就職先として公務員を選んだ理由

学校で考古学を専攻していたため学芸員職を希望していました。中でも、身近な文化財の魅力や面白さを伝え、その場所らしさを次世代に残したい、守るきっかけ作りができるような仕事をしたいと考えていました。行政であれば市民と直接関わりながら文化財の周知・啓発をおこなっていくことができると思い、行政学芸員を選びました。

■綾瀬市の特徴、魅力だと感じる点

市の規模が大きすぎないところです。市と市民の方との距離が近いので、協働でイベントを実施したり、文化財の魅力を語ることができたりするところはとても魅力的だと思います。また、旧石器時代から近現代まで様々な時代の多種多様な文化財があるところも行政学芸員としては欠かせない魅力だと思います。



立会調査の様子



神崎遺跡公園で説明をする様子

■行政学芸員としての仕事のやりがい

文化財の活用事業を通して、文化財に興味をもった、綾瀬にこんな魅力があったことを知らなかった、等の反応をいただいたときはやりがいを感じます。綾瀬には総合博物館がないので文化財に触れる機会が少ないのですが、魅力的な文化財が多くあるので少しでも興味を持つきっかけを提供できたと思うと、次への活力になります。また、未整理だった資料を市民の方と一緒に整理し、一体となって展示するところまでつなげることができたときは大変やりがいを感じました。

ある1週間のスケジュール

- 月
 - ・収蔵庫の民具点検
 - ・事業の資料作成
- 火
 - ・埋蔵文化財の立会調査
 - ・事業の企画・資料作成
- 水
 - ・開発に伴う試掘調査
- 木
 - ・市民から問い合わせのあった文化財についての調査
 - ・文化財PRのための文化財調査・情報整理
- 金
 - ・事業の資料作成
 - ・埋蔵文化財の事務処理、試掘調査の調整
- 日
 - ・イベントがあるときは、イベント会場にて解説や体験教室の実施、講演会の運営（同じ週の平日に、代わりにお休みを取ります。）

ある1日のスケジュール

- 8:30
 - ・担当内で当日のスケジュールについての打合せ
 - ・メールの確認、情報の共有事項
- 9:00
 - ・市内文化財の広報記事作成
 - ・市内文化財の調査、情報収集
- 11:00
 - ・埋蔵文化財の立会調査
 - ・業者から提出された届出の確認、試掘調査の調整
- 12:15
 - ・自席で昼食
- 13:00
 - ・先輩職員と意見交換をしながらイベントの計画
- 15:00
 - ・関係団体とメールにて事業調整
- 16:00
 - ・事業の資料作成
 - ・埋蔵文化財の立会調査
- 17:00
 - ・明日のスケジュールを確認後、退庁

■就職活動中の皆さんに一言

綾瀬市では、文化財を活用することで保存・理解につなげていくという雰囲気があります。職員同士でも活発な意見交換を行っており、イベントの企画・実行が多いので主体的に仕事をする事ができます。また、埋蔵文化財から民具まで様々な種類の文化財を扱うことができます。分野に捉われず、柔軟な発想をもとに、各文化財を関連づけた活用事業を行うので、色々なチャレンジができると思います。吉岡遺跡群に始まる約4万年分の綾瀬の魅力を一緒に守り伝えていきませんか。